

# 「徳地アドベンチャープログラム」研修会 I・II

～高め合う集団づくり・チームづくりのために～  
～笑顔あふれるクラスづくりのために～

平成 28 年 6 月 25 日 (土) ～ 6 月 26 日 (日)  
平成 28 年 10 月 15 日 (土) ～ 10 月 16 日 (日)

【ねらい】 「徳地アドベンチャープログラム」(以下、TAP)の体験を通して、TAPで大切にしている考え方(失敗から学ぶ、自他を尊重する、目標を設定してチャレンジする、等)を理解し、参加者それぞれの指導や活動の場面で、TAPの考え方や手法を実践する意欲を高めることを目指す。

【参加者】 I : 16 名 (男性 13 名 女性 3 名)

II : 20 名 (男性 14 名 女性 6 名)

【プログラムの内容】

〔6月25日(土)〕

- 10:00 開講式
- 10:30 セッション1 TAP体験
- 13:00 セッション2 TAP体験
- 18:30 セッション3 1日目のふりかえり
- セッション4 TAPが大切にしていること①

〔6月26日(日)〕

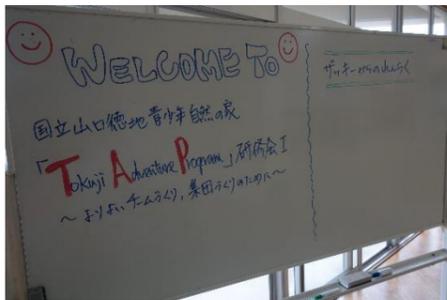
- 9:00 セッション5 TAP体験
- 13:30 セッション6 TAPが大切にしていること②
- セッション7 日常生活に向けて
- 15:00 閉講式

〔10月15日(土)〕

- 10:00 開講式
- 10:30 セッション1 学び合う関係をつくるための活動
- 13:00 セッション2 TAP研修【室内・屋外編】
- 19:00 セッション3 TAP研修【理論編】

〔10月16日(日)〕

- 9:00 セッション4 TAP研修【室内・屋外編】
- 13:30 セッション5 TAP研修 2日間のふりかえり  
～学びを実践するために～
- 15:00 閉講式



開講式では研修会での心構えを確認します。まだみんな緊張しています。



グループの変化はなぜ起きたのかを交流し、グループへの自分の関わり方を考え、ビーイングに書き込んでいきます。



ねらいを持った様々な体験活動を通して少しずつ緊張がほぐれ、笑顔が出てきました。



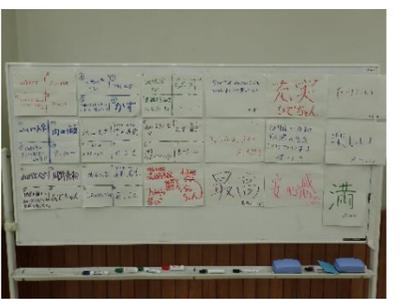
理論やファシリテーターの意図も織り交ぜながら活動を積み重ねていきました。



ビーイングを作成し、グループで大切にしたいことを確認しながら活動します。



全体でのふりかえりで TAP の効果や自分のフィールドでどう活かしていくかを交流しました。閉講式では参加者全員に修了証をお渡しし、2日間の研修を終わりました。



【参加者の声】

- 最後まで段階的に難易度が設定されており、チームができていく過程を実感できた。
- いろいろな先生が参加して体験すると、学校現場の教育が少し変わっていくかもしれないと思いました。
- TAP の理論を職場のプログラムに生かしたい。ファシリテーターの技術は大きい。今後習得できるように研修していきたい。

【成果】

- TAP で大切にしている考え方や理論的な話を途中に入れながら活動を行うことで、参加者がファシリテーターの意図や思いを理解しながらグループの成長を感じることができた。

【課題】

- 実際にそれぞれの活動の場で内容や理論・手法をどう活かすかの実践的な協議の必要性。

【今後の展望】

- 参加者のニーズにこたえるための研修会及び講習会の設定。